

特集

いざというときのために

~救急車を呼ぶ前に知っておきたいこと~



Model : 左から田辺さん・三宅さん
BLS(一次救命処置)インストラクター

キラリ☆元気さん

診療部 救急科

主任医長 加藤 由美

そこが知りたい

病院機能評価を受審

知っ得情報

新しい検査機器で精度向上

- 経営理念
- 一、安心して、生命をゆだねられる病院
 - 一、快適な、人間味のある温かい医療と療養環境を備えた病院
 - 一、他の医療機関・福祉施設と共に良い医療を支える病院
 - 一、職員ひとりひとりが幸せで、やりがいのある病院

ライフサプリ

心肺蘇生・AED

きよくとう連携のわ

えだむら腎泌尿器科

キョクトウニュース

新しい医師の紹介

4月1日は April Dream

特集

「いざというときのために ～救急車を呼ぶ前に知っておきたいこと～」

救急車を呼ぶ場面は、突然やってきます。目の前で人が苦しんでいたりと、意識を失っていたりすると、「今すぐ呼ぶべきか」「様子を見てよいか」と迷ってしまうことも少なくありません。

いざというときに、ためらわず行動できるよう、救急車を呼ぶ目安となる症状、到着までに準備しておきたいもの、日ごろから確認しておく安心ポイントをまとめました。

また、当院の救急体制や、判断に迷ったときに相談できる窓口についてもご紹介します。正しい知識を知っておくことが、大切な命を守る一歩につながります。



①

① 救急室



②

② チーム医療
救急患者さん到着後、すぐに多職種で連携して処置や検査を開始します。



③

③ お薬手帳
今まで服用・使用したお薬の名前や飲む量、過去に経験した副作用などを継続的に記録しましょう。

こんなときは迷わず救急車を呼びましょう

頭

- ・突然の激痛
- ・初めて経験する激痛
- ・バットで殴られたような激痛

胸

- ・引き裂かれるような激痛
- ・突き刺さるような激痛
- ・えぐられるような激痛
- ・焼けるように胸が熱い
- ・胸が苦しい

- ・出血（吐血・下血、傷から持続する出血）
- ・痙攣
- ・高所からの転落



他の部位の激しい痛み
背中・お腹・腰など

その他

- 息が苦しい・冷汗・めまい・顔色が悪い
- 手足が動かさにくい・しゃべりにくい・反応が鈍い・意識消失・身体が一方に傾く

左の図で示した症状は非常に重篤な疾患の一症状の可能性があるため、速やかに救急車を呼びましょう。その中でも特に気をつける症状があります。これらは命の危険が迫っていることを示している可能性があるため、迷わずすぐに救急車を呼びましょう。

特に気をつける症状

意識（脳出血・脳梗塞・ショック・不整脈など）
反応が鈍い・話のつじつまが合わない
活気がない・目線が合わない

呼吸（肺炎・喘息・気胸など）
回数が多く・肩を使っている・荒く聞こえる
喘鳴（ぜんめいヒューヒュー、ゼーゼーという雑音）がある

循環（心筋梗塞・不整脈・肺動脈血栓症など）
顔色が悪い・冷汗をかいている

麻痺（脳出血・脳梗塞・大動脈解離など）
手足が動かない・身体が一方に傾く・急に歩けなくなった

救急車が到着する前に用意するもの

- お薬手帳、または現在内服しているお薬
- 血圧・血糖管理手帳
- 他院での治療歴などの情報
診療情報提供書（CD・フィルム）、看護添書、基本情報など
- 健康保険証（受給者証 など）

※入院や治療などに関して方針を決める決定権のある方の来院も大切です。

例えば、緊急手術をおこなうことになった場合、お薬手帳でこのような対応ができます。



血液をサラサラにする薬（抗凝固剤）を服用している

その作用を止める薬（拮抗剤）を準備して、手術前に投与

手術中・手術後の出血量を最小限にできる!

日頃から確認とメモをしておきましょう

- 名前・年齢・性別
- 血圧・脈拍・体温・意識状態
- いつから、どのような症状が出たのか
- 即往歴・アレルギー
- 家族歴（親族や同居者の病気・健康状態）
- 普段の生活が一人でできているかどうか
起き上がり・歩行・排泄・衣服着脱・食事・入浴など
- 急変時の蘇生処置や延命処置をおこなうか

右手が痺れるとかいっていたような…
いつだったかな?血圧は、えっと…



日頃から気になる症状などメモをしておく、
動揺した時でもそのメモを渡すことで
確実に情報を伝えることができます。

当院の救急体制

当院の救急外来は、患者さんの「いつもと違う」に迅速かつ的確に対応できるよう、万全の体制を整えています。

救急隊との連携

救急搬送中から院内での診療までを一体と捉え、救急隊もチームの一員として連携します。患者さんが病院に到着する前から情報共有をおこない、切れ目のない診療体制を構築しています。

多職種との連携

救急隊からの情報をもとに、患者さんが来院する前から、多職種で連携して、必要な準備を進めます。到着後すぐに適切な処置や検査を開始し、スムーズな診療を提供しています。

救急車を呼ぶか迷った時の相談窓口

救急安心センターおかやま（#7119）



看護師などの専門家が、救急車を呼ぶべきか、診てくれる病院はどこかなどをアドバイスします。

曜日	受付時間
平日	19時～翌朝8時
土曜	18時～翌朝8時
日曜・祝日・年末年始	8時～翌朝8時

対象患者

- おおむね15歳以上の方
- 岡山市、津山市、瀬戸内市、真庭市、久米南町、美咲町、吉備中央町の住民及び滞在者

こども救急電話相談（#8000）
15歳未満のお子さんの相談はこちらへ



キラリ★元気さん



診療部
救急科 主任医長

かとう ゆみ
加藤 由美

救急搬送から入院後まで。患者さんを
支え続ける救急科の役割を聞きました。

Q 主な業務

A 救急科は、急な体調不良や交通事故による怪我などの患者さんを診察し、適切な専門医へつなぐ役割を担っています。また、救急全般に加え、重症患者さんが集中治療室（HCU）に入院された後の全身管理・治療を担当しており、外来での診断・治療から入院後のサポートまで、継続して患者さんを診ています。

Q 多職種との連携

A 全身管理（全身状態の管理）とは、手術が必要な患者さんに対して、主治医の外科医が手術をおこなう一方、手術後の点滴や薬の調整、食事、リハビリの進め方などを協力しておこなうことです。主治医が専門領域に集中できるよう、チームとして連携しています。



Q 心がけていること

A 患者さんの話を丁寧に聞き、迅速かつ正確な診断をおこなうことを心がけています。また、救急搬送中から院内での診療までを一体と捉え、救急隊をチームの一員として連携しています。いただいた情報をもとに看護師や各検査担当者が準備を進め、患者さん来院後のスムーズな診療体制を整えています。

Q メッセージ

A 「いつもと違う」と感じた時が、救急受診の目安です。急な体調不良で受診することに不安を感じるかもしれませんが、どのようなタイミングで来られても、適切に診断・治療できるよう準備を整えています。安心してご来院ください。些細なことでも、遠慮なくご相談ください。

病院機能評価を受審

1/15(木)～16(金)の2日間、当院は「病院機能評価」を受けました。

病院機能評価とは、第三者機関として病院の運営や医療の質、安全への取り組みなどを確認し、より良い医療を提供するための評価をおこなう制度です。当日は6名の専門の調査員が、院内の様子や書類などを確認しました。最終日には、今後さらに良い病院にしていくためのアドバイスをいただき、職員一同、改めて身の引き締まる思いで受け止めました。

評価結果は後日公表されますが、今回いただいたご意見を大切に、これからも安心して受診していただける病院を目指して、改善に取り組んでまいります。



医療提供、組織の運営管理など病院全体の概要を説明



入院患者さんへの診療体制や記録管理について説明

知^得情報

新しい検査機器で精度向上

これまで以上に正確で安心できる検査を提供するため、2025年に検査機器を更新しました。

大腸がん検診を、より精度の高い体制でおこなえるよう便潜血測定装置「OCセンサー-PLEDIA®」を導入しました。また、HbA1c(糖尿病の指標)の測定精度が向上する自動グリコヘモグロビン分析計「HLC-723®GR01」を導入しました。今後も検査体制の改善を重ね、信頼できる結果を診療に活かしてまいります。



便潜血測定装置
「OCセンサー-PLEDIA®」



自動グリコヘモグロビン分析計
「HLC-723®GR01」



いざという時に命を救う

意識を失って倒れている人がいたら、早急な119番通報、胸骨圧迫やAEDの使用が命を救う鍵となります。正しい処置を覚えて、いざという時に行動できるようにしましょう。

発見から助けを呼ぶまで

周囲の安全と意識の確認

周囲の安全を確認し、肩を叩きながら、大声で呼びかけます。

大丈夫ですか!



119番通報とAEDの依頼

周囲の人に助けを求め、具体的な役割を依頼します。

あなたは119番

あなたはAED



10秒間の呼吸確認

胸やお腹の動きを10秒間観察し、息をしているか確認します。



呼吸がない、または判断に迷う場合は
すぐに胸骨圧迫を開始します

胸骨圧迫・AEDの方法

胸骨圧迫の実施

胸骨圧迫を「強く・速く・絶え間なく」実施します。人工呼吸ができる場合は、胸骨圧迫30回に対し、人工呼吸2回を繰り返します。人工呼吸にためらいがある場合や、方法が分からない場合は、胸骨圧迫だけでも続けてください。



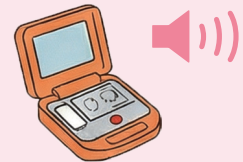
強く 胸が約5cm沈む深さ

速く 1分間に100～120回のテンポ

絶え間なく 救急車が到着するまで繰り返す

AEDの音声ガイダンスに従う

AEDの電源を入れ、パッドを胸に貼り、音声ガイダンスに従い、電気ショックの有無を確認します。



電気ショック時は体から離れる

感電を防ぐため、電気ショック時は自分も周りの人も、患者に触れていないか声を出して確認する。

救急車到着まで、
胸骨圧迫とAEDの使用を繰り返します

実際にAEDの体験をしてみましょう

いざという時にためらわずにAEDを使用できるようになるためには、事前の練習が大切です。

当院では、地域の皆さんが安心してAEDを使えるよう、看護師を講師として派遣し、講習会を実施しています。講習会のご希望がありましたら、お近くの公民館または社会福祉協議会までご相談ください。



えだむら腎泌尿器科

枝村 康平 院長

施設の特徴

当院は令和7年10月に岡山市南区浦安西町に開院した泌尿器科クリニックです。頻尿や尿もれ、排尿時痛といった日常のお悩みから、前立腺疾患、尿路感染症、尿路結石、腎・泌尿器のがん診療、ED診療まで幅広く対応しています。泌尿器科は受診をためらいがちな症状も多い診療科ですが、安心して相談できる環境づくりを大切にしています。地域の医療機関との連携を重視し、必要に応じて適切な医療機関への紹介もおこないながら、患者さん一人ひとりに寄り添った診療を心がけています。



メッセージ

泌尿器の悩みは「どこに相談してよいかわからない」「少し恥ずかしい」と感じることも多いかもしれません。だからこそ、私たちは気軽に相談できる泌尿器科でありたいと考えています。少しでも気になる事があればいつでもご来院ください。



診療科目 泌尿器科

診療時間 午前 9:00～12:00

午後 15:00～18:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	△	○	○	△

13:00まで

休診 水曜午後 / 土曜午後 / 日曜 / 祝日

〒702-8025 岡山市南区浦安西町21-45

☎ 086-262-6000

<https://edamura.jp/>



◆公共交通機関をご利用の場合

バス停「当新田」を下車、徒歩約8分
駐車場 18台

2月から赴任の医師紹介

麻酔科



くらさこ としあき
倉迫 敏明

2月より麻酔科医として赴任しました。これまでの経験を活かし、手術前から手術後まで、患者さんが安心して過ごせるようやさしく丁寧な診療を心がけています。

4月から赴任の医師紹介

放射線科



おおもり まり
大森 真理

これまで主に読影業務に従事してまいりました。画像診断を通じて、少しでも日々の診療のお力になれば幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

4月1日は April Dream



「4月1日に嘘ではなく夢を発信し、夢であふれる未来をつくろう」という April Dream のコンセプトに賛同し、院内に桜のメッセージカードを展示します。来院された皆さんも、未来への願いや夢をぜひ書いてみてください。院内に春の夢を咲かせましょう。

4～6月 催しのご案内

参加無料 健康教室のご参加は、事前に申込みをお願いします。

4月

- 21(火) 14:00～15:00 第152回転倒予防健康教室
- 22(水) 11:00～12:00 君と歩いた青春を歌うコンサート

5月

- 14(木) 13:00～14:00 糖尿病教室(2階会議室ひるがお)
- 19(火) 14:00～15:00 第153回転倒予防健康教室
- 28(木) 13:00～14:00 糖尿病教室(2階会議室ひるがお)
- 31(日) 10:00～15:00 第6回ななまちーずフェスティバル
場所:岡山ふれあいセンター

6月

- 11(木) 13:00～14:00 糖尿病教室(2階会議室ひるがお)
- 16(火) 14:00～15:00 第154回転倒予防健康教室
- 25(木) 13:00～14:00 糖尿病教室(2階会議室ひるがお)

感染症の流行状況により、急遽中止になる可能性もございます。参加される際は事前にホームページをご確認のうえ、お越しく下さい。

申込み

086-276-3231(代表)
オンラインでの申込み・最新の催し情報▶



病院統計 (2025年1月～12月)

外来患者延数	63,127人	地域医療支援病院紹介率	73.9%
入院患者延数	65,766人	地域医療支援病院逆紹介率	121.9%
新入院患者数	4,357人	救急患者搬入件数	1,945件
退院患者数	4,362人	脳神経外科手術件数	242件
平均在院日数	13.2日	整形外科手術件数	2,539件

地域医療支援病院
公益財団法人 操風会
岡山旭東病院
OKAYAMA KYOKUTO HOSPITAL
脳・神経・運動器疾患の総合的専門病院
臨床研修指定病院 (協力型)

脳神経外科、整形外科、脳神経内科、リハビリテーション科、内科、循環器内科、麻酔科、放射線科、リウマチ科、形成外科、泌尿器科、皮膚科、救急科、健康センター、脳卒中センター、サイバーナイフセンター、PET・RIセンター、スポーツ・関節外科センター

〒703-8265 岡山県岡山市中区倉田 567-1
086-276-3231 Fax.086-274-1028
<https://www.kyokuto.or.jp>



診療時間
午前 9:00～12:00 (8:30受付開始)
午後 14:30～16:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	△	○	△

休診 木曜午後 / 土曜午後 / 日曜 / 祝日
(但し、急患はこの限りではありません)

あとがき

体調急変時には、迷わずに救急車を呼びましょう。しかし、不要な場合もあり、救急車を呼ぶ前に知っておいて欲しい事もあり、記事が参考になれば幸いです。

院長 吉岡純二